

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【汚染水貯留タンクにおける運用水位上限を超えた貯蔵について】 K2タンクエリアの汚染水貯留タンク2基において水位計100%の設定値を1000m<sup>3</sup>(運用水位上限)とすべきところ、1060m<sup>3</sup>(設計水位上限)としていたため、運用水位上限を超えた貯蔵量となった。 当該2基のタンク水位は、設計水位以下であり強度上の問題がないことを確認。 また、当該タンク2基の貯蔵水を運用水位上限以下まで別のタンクへ移送する予定。 なお、当該タンク2基を含むK2タンクエリア28基のタンクにおいて貯蔵できる容量の管理および水位計の設定に誤りがあることが判明したが、他の26基については、運用水位上限を超えた貯蔵量ではなかった。</p>	G II
2	<p>【増設多核種除去設備吸着塔(5A)の内部構造物の損傷について】 増設多核種除去設備吸着塔(5A)の吸着材交換時の内部点検において内部構造物3カ所に損傷を確認。 損傷原因の調査、補修を実施する予定。</p>	G III